

INDEX

- 1 巻頭インタビュー
岡田武史氏
[投資で夢実現]
- 2 明日のあなたを
投資が支える
[広がる投資の新しい姿]
- 3 暮らしに溶け込む
変わる投資の今
[投資を支える制度と活用法]

いま、考える 賢い資産形成 投資で夢実現

本タイトルの「夢」は、岡田武史氏が今治にかける思いを込めた直筆の書である。

岡田氏の見つめるその先の夢を語ってもらった。

さらに投資でかなえる夢のために何が必要なのか？

いまやるべき資産形成のカタチを探る。

日本が世界で勝つための プレーの「型」が必要だった

2014年に愛媛県今治市の「FC今治」のオーナーになった岡田武史氏。サッカー日本代表監督まで務めた岡田氏がなぜ今治でチームづくりをしようと思ったのか。そこには長いスパンで先を見通したあるビジョンがあった。サッカーにとどまることなく、広がる岡田氏の「夢」に迫る。

コーチと議論を重ね 「岡田メソッド」作成

FC今治ではこれまで日本のサッカーにはなかったプレーの原則となる「型」を育成で教えています。サッカーの本場、欧州では16歳になるまでにプレーの原則をしっ

かりたき込まれます。その型を習得しているからこそ、自由な発想でプレーができる。つまり、その原則がどんな状況で判断できるよりどころになっているんです。一方で日本では、子どもの頃は自由にプレーをさせておいて、高校生になって初めて戦術を教える。だから日本代表の外国人監督

に「日本の選手は指示されたことはできても、自己判断ができな」と言われるのではないかと考えたわけです。以前、知り合いのFCバルセロナのコーチからプレーモデルを見せられた機会がありました。すると、日本では単に縦パスと呼ぶパスが数種類もあって、それぞれ名称が違うんです。子どものうちに細かく覚え込ませるんです。そこで私は日本独自の原則集「岡田メソッド」をつくり、FC今治で実践してみようと考えました。

当初1年での完成を目指していましたが、結局3年かかりました。日本のプレーが世界で勝つための原則を学んだ場合、その原則は約80。それを16歳までにしっかりと教え込む。その答えが出るのは10年後です。そうやってJリーグで優勝争いできるチームを10年でつくろうという思いで、4年前に今治市に移住しました。ところが街の中心街の交差点に立つと更地が目立ち、商店街には人がいないのを目の当たりにしました。これではFC今治が成功してもチームが立つ場所がなくなると危機感を覚えたので

す。そこでサッカーと一緒に今治の街を元気にしたいと考えようになりました。考えたのが「今治モデル」。まずは市内のサッカー少年団、中学校、高校の先生全員と会い、「コーチは無償で派遣するので、みんな1つのヒラミッドをつくりましょう」と岡田メソッドを無償で共有しました。

ヒラミッドの頂点であるFC今治が面白いサッカーをして強くなれば、全国から若者や子どもが今治に集まる。指導者もアジア各国から勉強しに来る。そういう人たちが地元の方のお宅にホームステイすれば、例えばおばあちゃんがスポーツ選手向けの料理を勉強したり、おじいちゃんが英会話を始めたり、子どもたちが買い物を手伝ったりする。そんなことを通じて、気付けば人口16万人の街が活気あるコスモポリタンになっていくのではないかと。でも、サッカーだけではせいぜい数百人しか来ません。そこで「複合型スマートスタジアム」の建設を提案しました。

将来、J2、J1と上がっていったら1万5千人が収容できる規模のスタジアムを建てなければいけません。そこを試合のときだけでなく、一年中人が集まるような複合型の施設にしようという提案です。トレーニングセンターやデータセンターを設置する。地元の医大の診療施設も造り、ホテルも併設することで、トップアスリートが体の状態をチェックしてデータ分析し、トレーニング指導も受けられる施設にする。そのほかにもタンス教室があったり、温泉や飲食店があったりと、スタジアムを拠点に多くの人が集まるのではないかと考えたわけです。当初は単なる夢物語として語っていましたが、少しずつ可能性を感じる動きになってきました。

SPECIAL INTERVIEW

元サッカー日本代表監督 FC今治オーナー 岡田武史氏

1980年早大卒。98年、2010年のW杯で日本代表監督を務める。Jリーグと中国でクラブチームを率い、14年からFC今治オーナーとして地方創生に取り組む。62歳。

PRESENT

- A 岡田武史氏サイン入り「FC今治公式ユニフォーム」を1名様にプレゼント
- B 「FC今治公式Tシャツ」を5名様にプレゼント



日経アドネットからこの特集の感想をアンケートでご回答ください。抽選で岡田武史氏のサイン入りグッズをプレゼントいたします。

日経アドネット



応募締切：2018年10月31日(水)まで

<http://adnet.nikkei.co.jp/e/201810sisan/>

*当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

広告

いま、考える
賢い資産形成
投資で夢実現

「Jリーグで優勝した
うちの社員は単に
思いいます。
べきものが多くある
社会課題には解決す
来を考えると、現在の
いけないという戒め
です。子どもたちの未
たり汚したりしては
ます。地球環境を壊し
の」という言葉があり
は子孫からの借りも
も伝わる教訓に「地球
ネイティブアメリカンに今で



「FC今治」

今治市は、しまなみ海道の四国側の玄関口であり、造船、タオルを代表として工業が盛んな地。クラブは1976年に「大西サッカークラブ」として創設、2012年にFC今治に。14年、岡田武史氏をオーナーに迎え「岡田メソッド」を掲げて市全体での長期一貫指導を開始。17年、JFLに参入。今後、Jリーグへの加盟、さらには25年までにJ1での優勝争いを目指す。

企業の思い見極め
ビジョンに投資を

リスクを覚悟して一歩を踏み
出せば、不思議と人は助けてく
れるのです。必要なのはビジョ
ンです。ビジョンを持って本人
が達成したいとワクワクしてい
るから、みんながそれに賛同し
てくれるのだと思うのです。
でも、大それた夢なんて簡単
には見つかりません。まずは目
の前の目標を1つつくり、はじ
めの一歩を踏み出すこと。それ
を実現することで次の目標が見
つかるのです。

い」と集まってきているわけでは
ありません。「次世代のため、物
の豊かさより心の豊かさを大切
にする社会創りに貢献する」とい
うFC今治の企業理念の下に集
まってきてくれています。
そもそも僕らには売るものが
感動や夢しかない。でもそういう
ものにお金が回っていく社会に
ならなければ、今の資本主義社会
は行き詰まります。
ベンチャーから優良企業に成
長した、ある会社の経営者からこ
んなことを言われました。「ス
タートアップ企業の9割は5年
以内に潰れます。でも、そうやっ
てチャレンジする人が出てこな

ければ、社会は変わりません」。
今の会社の経営を始めて4年目
の僕にとって、この言葉が心の支
えです。
元来、株式投資も企業がどんな
思いで事業をしているかを見極
めて投資をしていたはず。今
ではエンジェル投資と特別なこ
とのようにいわれています。けれ
ども一番大事なことは、投資先の
ビジョンにお金を出すことでは
ないでしょうか。
スポーツも変わらなければい
けません。これまでスポーツ界で
は、お金の話はなんとなくタブー
でした。スポンサー探しも、「お
願いします」という姿勢でした。

そうではなく、夢に共感して
もらうのと同時に、ビジネスモ
デルをきちんと提示しなければ
いけません。例えばクラブ経営
を通じて、児童向けの体験教育
などもできるでしょう。そこに
一般企業の社員の方がボラン
ティアで参加することで、社員
研修に活用してもらうなど色々
な提案ができます。
クライアントの悩みや課題に
対してソリューションを与える
ことで、対価もきちんといただ
く。そういう投資先にならないけ
ばいけないと思います。僕たち
は「今治モデル」でそれを実践し
ていきたいと思っています。

物の豊かさよりも
心の豊かさを大切に
いふ武史



5000人収容のありがとうサービス。夢スタジアム

目の前の目標づくり
はじめの一歩踏み出す
2017年にJ3仕様の50
00人収容のスタジアムを民間
の力中心で建てましたが、建設
費は約3億8000万円とし
た。1万5000人収容の屋根
付きスタジアムとなると、最低
でも50億円はかかります。
うちの財務体質であれば20
億円はなんとか調達できます。
残り30億円を寄付で賄うのは

到底無理です。我々が投資に見
合う会社にならないといけま
せん。そのためにはスタジアム
を複合型にして、サッカー以外
でも利益を生み出す仕組みが
必要でした。
今治市には、今治造船や日本
食研をはじめ多くの優良企業が
あります。先般、地元企業とLD
H JAPAN（人気グループ
「EXILE」が所属するプロダ
クション）を引受先とする第三
者割当増資を発表しました。今
治に来て3年半。ついに「岡田さ
んを地元の我々が支えないか
ん」と言ってもらえたのです。街
に活気が戻り、信頼関係ができ
たことで投資してくれたと考え
ています。
人からはよく「岡田さんの名
前があったから助けてもらえ
た」と言われますが、それは違
う。夢を語るだけなら誰でもで
きます。

